

目次

□巻頭言 海外工事の発展と機械化方式……………伊丹康夫/1
 海外工事の現況と今後の見通し……………玉光弘明/3
 海外工事における機械運用上の諸問題……………標環/7
 海外工事における建設機械の整備……………森木泰光/12
 建設機械の海上輸送……………渡辺啓治/16
 建設機械の海外市場と製品面での課題……………坂根正弘
 井上米蔵/18
 海外工事におけるクレーンレンタルの実績……………松田勝喜/23

グラビヤ—海外における建設工事

タイ・シーナカリンプロジェクト建設工事……………篠原淑郎/27
 マレーシア・ランガットダム建設工事……………河野公典/36
 イラン・バンダーシャプール石油化学工場港湾建設工事……………天宮義和
 ………………宅沢敏博/40
 イラク・ダウラ潤滑油プラント建設工事……………漢那肇
 ………………柳沢昌彦/46
 イラク・ハルサ火力発電所建設工事……………小野寺健二
 ………………岸健太/51
 エルサルバドル・クスカトラン国際空港建設工事……………真島尉
 ………………山本功/55
 タイ・スラタニ道路センターにおける建設機械の実績……………中野俊次/59
 □随想 インドネシアの印象など……………渡辺隆/64

□部会研究報告

新工法調査報告(4)……………調査部会/68
 □新機種ニュース……………調査部会/77

□整備技術

冷却系統の保全(2)……………整備技術部会/80

□ISO規格紹介

建設機械の安全性の必要条件
 および居住性に関するISO標準規格(11)……………ISO部会/82

□統計

建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移……………調査部会/85

行事一覧……………/86

編集後記……………(塚原・牧・鈴木(和))/88

◀表紙写真説明▶

エルサルバドル

クスカトラン国際空港建設工事

施工：株式会社 間組

中米各国はナショナルプロジェクトとして国際空港の新設、増改築が盛んである。エルサルバドルも中米経済統合銀行および日本政府円借款(日本輸出入銀行取扱)の資金によりクスカトラン国際空港を建設中である。敷地 860 ha に主滑走路長 3,200 m の 747 級が離着陸可能な国際空港であり、エルサルバドル政府および国民の大きな期待のもとに着々と工事は進み、開港予定は 1979 年末となっている。間組施工の土木工事は 1978 年末には完工の予定、建築工事は 1979 年 5 月完工の見通しである。なお、コンサルタントはパシフィック・コンサルタンツ・インターナショナルである。(本誌 55 頁参照)